

【電線類が地中化されたランドスケープデザイン】

No.3 20年後の「シーサイドももち中2街区」 九州福岡

■事業展開:約20年前、百道浜の戸建住宅ゾーンはアジア太平洋博覧会の街並みモデルとして始まった。

■街並計画:宮脇植建築研究室の総合監修によるランドデザイン&デザイン指針による街並計画で実施。

■ランドデザイン:ボンエルフ道路を採用しコモンの緑地やフットパスと組み合わせ、宅地と道路空間が見事に融合したこれまでわが国に無かった新しい住環境を創造。その手法は後に全国の開発地に大きな影響を与えた。

■ランドスケープデザイン:築20年経過しているものの樹木もしっかり管理され、自然石や燻し瓦などの素材感を活かした街並みは、高級感溢れ緑まばゆい美しい街並み景観をなす。

■エリアマネジメント:米国のH.O.A並みに管理組合によりしっかり景観マネジメントがおこなわれている。

■経年美化:経年後を見越して街並みが劣化しないように宅地廻りは自然石と生垣を中心に、道路や外構には素材感を活かした燻し瓦が使用された。

文責:高山 登

ボンエルフ道路のストリート景観 平成24年6月撮影

◆ストリート景観

- ・歳月を経るごとにその魅力が増し、資産価値としても極めて高い評価を得ている。
- ・左右にコモン(グリーンスポット)を確保し、一般的な宅地開発では不可能な圧倒的に緑量の多い街並み景観を創造。
- ・経年後の成熟した街並みの創造は、景観マネジメントが徹底されて可能となる。全国的にも極めて少ない事例。



住環境を創造するコモン(グリーンスポット) 平成24年6月撮影

◆ゲートツリー

- ・道路交差点のコモン(グリーンスポット)内のコミュニティを象徴するクスノキ。
- ・電線のない街並みに悠然と佇む様は、高級住宅地であることとコミュニティの気品が漂う地域ブランドを形成。
- ・自然石の石積に生垣、手入れの行き届いた庭木で構成された街区は、日本の伝統的な美しいお屋敷街を形成。



皆さんが日本の電柱・電線社会の現状について感じられていることをエッセイとして綴り、お送り下さい。本会報の【随想】欄に掲載させていただきます 1000~1500文字、簡単な自己紹介(お仕事、住所等)とポートレート(顔写真)を添えて下さい。投稿をお待ちしています!

NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク。ク事務局 井上、志熊 Mail: info@nponpc.net

私達が住む日本の空を、みんなで美しい空へ変えましょう!

美空~MISORA~



第54号

発行日:2013年2月25日(金)

発行者:NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク

理事長 高田 昇

《活動報告》2013年1月25日理事会(COM計画研究所)

◆技術開発委員会2種類のDDBOXのカタログが完成 : 井上理事

1つめのカタログは「電柱のない街づくりを目指して」というテーマで、無電柱化についての記述やメリットを記載したもの。景観、交通安全対策、バリアフリー化で主に「安心・安全」をうたう。2つめのカタログは、「DDBOX」の本体構造の紹介とメリット、構成を掲載。

カタログをNPOの武器としていくのがよいのではないかと。現在のカタログはイトーヨーギョー側の製作となっており、PRする時はどのようにいえば良いか。会員にもPRできるようなものになればよい。

◆世論形成委員会: 荒閑理事

昨年11月のK社の講師予定が没となった。次のステップに進みたいが具体的には決まっていない。4月に関西でセミナーを開きたい。共同溝をするにあたってどのような障害があり、こういった製品があればよいといった内容で。講師には、実際に施工をしている人が望ましいが、きんでんさんの他になかなか見つからない。

◆事業協力委員会: 高田理事長・井上事務局長

2月22日に勉強会を企画。地中化する方向で進んでいる。理由は、商店街のアーケードを取ったのだが電柱が目立つので電線類地中化を実施したい、との声があるから。当時はアーケードを取るか賛否両論だった。雨が降った際の来客数、太陽光などによる商品の劣化、など。それでも、アーケードを取ると景観がよくなり地元住民のモチベーションが上がった。

徳之島の議会事務局の方から電話があり、地中化したいとのこと。徳之島は台風の影響を多く、どのように対処するかなどといったことを議員さん向けに勉強会をしてほしい、と連絡があった。井上事務局長が対応。NPOのリーフレットを配る予定。

◆連絡事項: 井上事務局長

高田理事長からネットワークづくりとの指示が出ている。具体的には他の団体と連携し、リンクを広げる。現在のNPOは内向きとなってしまっている。緩やかな連携でもよいのでやるべきである。NPOとしてではなくても良い。将来的な展望としてNPOの全国無電柱化協議会のようなものができたらよい。

次回理事会は2月26日 18時からCOM計画研究所にて開催。

NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク事務局 (株)ジオリズム内 担当:井上、山岡
Mail: info@nponpc.net <http://nponpc.net> Tel:072-653-5811 Fax: 072-653-5833



2012年度政党緊急アンケート！！

- ② 今回の総選挙政策の各分野政策の「7、震災対策・防災」のなかで、「災害に強い街づくり、国土づくりをすすめます」のページを設け、「住民の要求をよく踏まえて、電線の地中化など、安全性を高める措置をすすめます。」と入れてあります。

〈社会民主党〉

- ① 安全で快適歩行空間の確保や都市景観の向上等を図るため、電線類の地中化を図る必要性が高い道路区間において、道路の地下に電線を共同して収容する、いわゆる電線類の地中化については、費用対効果や事業の必要性・緊急性から大胆に見直すべきですが、電線類の地中化のような、地域や生活に身着したもので、安全・安心のためのもの、環境の公共事業については積極的に取り組むべきものと考えています。
- ② 宗銀選挙公約 2012 総合版の中に、下記項目を盛り込んでおります。危険な橋梁の補修や電線の地中化、都市部の緑化、森林における路網整備等自治体によるきめ細やかなインフラ整備等を支援するための交付金を充実し、「身近な公共事業」を推進します。

〈国民新党〉

- ① 災害対策、道路利用の効率化そして都市景観の確保策として、早急な必要と判断しております。なお、地中化に当たっては既存の電話、水道、ガスなどの共同溝が必要となり、総合的で強靱な防災対策が必要となります。これには巨額な投資が必要となりますが、財源として、赤字国債の発行を伴わない「無利子非課税国債」の活用が基本となります。
- ② この度の政権公約の中で「元気な日本経済のための景気対策」として、「国内投資と防災・減債対策を組み合わせた 10 年間で 50 兆円の総合地域経済対策」と明記しており、電線地中化はその内の施策として位置付けております。

〈新党日本〉

- ① 当然。代表の田中康夫は長野県知事からの推進。
- ② 既に 2009 年の段階でマニフェストに明記。全国津々浦々全ての駅前から半径 500m 以内の電線地中化を実現し、片側に歩道を設置する。

〈結論〉

このようにどの政党も電線類地中化について、積極的に取り組んでいくという姿勢をとっています。しかし、どの政党にも共通していえることが、電線類地中化を後回しにしているということです。たしかに、電線類地中化はかなりコストがかかりますが、一度長期的な面でみてほしいですね。電線類地中化は、景観が良くなるだけでなく、災害の対策にもなります。したがって、電線類地中化を本格的に取り組んでくれる政党が現れるのに期待したいですね。

「美空」に載せてほしい事、調べてほしい事などがありましたら、info@nponpc.net までお送り下さい！
会員の皆様のご意見、お待ちしております！！

当 NPO ではメールマガジンも配信しており、電線地中化に関するコラム・情報を月 2 回お楽しみいただけます！ぜひこちらにもご登録下さい！→ <http://www.mag2.com/m/0000266000.html>

昨年 12 月に実施した、政党へのアンケート結果を報告します。
問いかけた質問は二つです。

- ① 電線類地中化について、貴党としての今後の考え方・方向性は？
- ② 今後、貴党マニフェストへの「電線類地中化・無電柱化」に関する言葉・項目の組み込みの有・無は？

以下が各政党の回答です。(回答のなかった政党もあります。)

〈自民党〉

- ① わが党は電線類地中化に関して、総合政策集において、(観光産業の再建・強化)「無電柱化の集中実施や景観に配慮したまちづくりによる魅力ある観光地の整備と観光産業の育成により、観光を通じた地域活性化を進めます」としております。
- ② ①と同文。

〈民主党〉

- ① 電線地中化は、安全で快適な通行空間の確保、都市景観の向上、都市災害の防止、情報通信ネットワークの信頼性の向上等に資するものだと考えます。環境省府省が連携し、道路建設と合わせた効率的な事業の推進、民間の資金活用、地域のニーズへの対応なども勘案しつつ、効率的な整備を推進していくべきです。
- ② 直接の記述はありませんが、地域のコミュニティを活かした地域防災力の強化、再生可能エネルギーの飛躍的拡大、電力システム改革などを盛り込んでいます。電線地中化の推進という点も踏まえて、取り組んでいくべき課題と考えます。

〈日本維新の会〉

- ① 街づくりや景観、環境保全といった地域の実情に応じた施策は、地域の必要性、緊急性に応じた、地域自ら決定していく自立する個人、自立する地域、自立する国家を目指します。
- ② 個々の具体的な施策は①で回答の通り、地域が決定します。決定できる統治機構の仕組みをつくり直します。

〈日本共産党〉

- ① 地中化は、望ましい政策と考えます。ただ事業費が高く、自治体・住民の負担も大きい場合があります。大切なことは、観光立地や防災まちづくりなど明確な目的を持って取り組むことです。そうでない場合は、自治体の財政状況を考えて、おのずと政策としての優先順位が出てくると思います。住民の理解が大事です。



当 NPO のホームページでも、最新情報を詳しく掲載していきます。
ぜひ、こちらへもアクセスしてください！<http://www.georhizome.xsrv.jp/>
フェイスブックはこちら：<http://www.facebook.com/NPONPC>